

校長室の窓から 147

071121 秋の俳句コンクール授賞式

今、秋の俳句コンクールの入賞作品が玄関に飾られています。作品の周りには、ほおづきやぶどう、さつまいも、どんぐりなどの秋の実がついていますが、これは毎回、スクールサポートスタッフさんや学習サポーターさんにお手伝いいただいています。



今日は、校長室にて、受賞者へ記念品(コースターとキーホルダー)を渡しました。記念品の製作は、今回も学校応援ボランティアの新村さんにご協力いただきました。

授与のときに、子供たちに一言コメントをもらいました。4年の中川さんは、**落ち葉がたくさん落ちていたら、わざとその上を踏んで歩きたくなるそうです(笑)**。そのときに浮かんだ俳句が「**パリッパリ 落ち葉をふむ音 ああ秋だ**」

水たまりがあればわざと入ってみたくなったり、氷が張ればわざとその上を歩いてみたくなったり・・・。

誰でも子供の頃ってそういう経験があるのではないのでしょうか。「小学生あるある」だのと、聞いて微笑ましく思いました。

突然一言コメントを求められて戸惑う子供もいたと思いますが、どの子供もそれぞれの俳句にこめた思いを一生懸命に話してくれました。



10名の方々おめでとうございます。

ぜひ、「冬の俳句コンクール」もふるって応募してください。

愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり